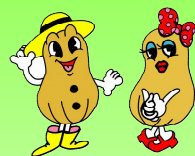


こうみんかんサポーター事業

(八街市中央公民館)



【サポーターって何?】

「こうみんかんサポーター」とは、もともと、公民館を利用されてきた方たちで結成され、「普段から公民館を利用させて頂いているから、何か恩返しをしよう。」ということから、平成24年に「緑のカーテン」を作成していただいたことに始まります。その後、不定期で障子張りや池清掃といった維持管理や、敷地内にお花などを植えるといった美化活動をされてきました。今では、その活動は定期的なものとなり、地域の活動拠点となる公民館において、社会活動に参加意欲のある市民を登録し、地域に根ざした活動に積極的に取り組んでいただくことで、市民との協働を図っています。

また、サポーターと市民との交流を通じて、普段、公民館を利用しない市民でも足を運びやすい、気軽に利用できる施設であることをサポーターのみなさんと共に目指しています。

公民館職員は、この活動が円滑に進められるようにニーズを吸い上げ、皆さんのバックアップを行っています。



【どんなことをするの?】

サポーターの皆さんは、公民館の敷地内にある緑地帯に、千葉県の花「菜の花」や八街市の花「ヒマワリ」「緑のカーテン」の植栽といった美化・環境活動や、時には障子の張り替えなども行います。緑のカーテンには、ゴーヤー、アサガオ、キュウリを採用し、夏の日差しを遮ってくれました。

4月から今年の夏にかけて、初めての取組として、公民館の後ろ側にある「芝生広場」を畑にして作物を育てるという試験的な取組を行いました。その作物とは、「落花生」「スイカ」「メロン」「カボチャ」「ジャガイモ」「夕顔」「ズッキーニ」「ミニトマト」「モロヘイヤ」です。これらの作物は見事に実り、サポーターの皆さんで「試食会」も行いました。

【もっと詳しく教えて】

それらの活動が発展し、サポーターさんを講師に迎え、市民を対象とした「初めての野菜づくり講座」を現在行っているところです。

これまでは、「公民館のために」だったものが「市民のために」と目的が広がり、講座を受講された方が「こうみんかんサポーター」へ加入するケースも見られるようになってきました。

今では、毎月1～2回の活動を行っており、それがサポーターの皆さんにとって生きがいとなっていることを大変誇らしく感じます。

(令和6年度活動実績)

【登録人数：13人(令和6年度末時点)】

【活動回数：17回】

【延べ活動人数：112人】

試食会



社会教育課「キラットスマイル」共催
小学生のみなさんとの収穫祭

【参加者の声】

- ・自分たちが育ててきた花がきれいに咲いたし、作物も良く育った。美味しかった。
- ・サポーターをしていなかったら、出会えなかった人と知り合えた。